



森のストラップ

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 自然物を使ってオリジナル作品を作ることによって、自然に親しむことができます。
- 道具の安全な使い方を習得することができます。

2 活動の概要

自然の素材であるどんぐりや木の輪切り、松ぼっくり等を材料に、独自のストラップを作る活動です。



<作品例>

- (1) 人数 120人以内
- (2) 対象 小学校3年生以上
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 1～1.5時間（説明20分+活動40～70分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2
- (6) 経費 50円/1作品
- (7) 指導 依頼のある場合、製作方法等について、自然の家職員が説明を行う。

3 準備物

団体	救急薬品
個人	軍手、小枝や松ぼっくりなどの木の实
自然の家	材料：木の輪切り、ヒートン（3個まで/1人）、ビーズ（6個まで/1人） ストラップ、カラーゴムひも（20cmまで/1人） 用具：カッターナイフ、油性ペン、ラジオペンチ、木工用ボンド、ニードル 修正ペン、ネームペン（細）、作業板

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。



<製作の様子>

5 活動の流れ

	内 容
説 明	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品を提示しながら、作り方について説明 用具の使い方と安全について説明
活 動	<p>① 自然物でどのようなストラップを作るかイメージする。</p> <p>② 輪切り、梅枝、ドングリ、ビーズで装飾用パーツを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 輪切り：木の皮の部分にヒートンを取り付ける。 マジックなどで字や絵を描いてもよい。 松ぼっくり：上部にヒートンを取り付ける。 ※ニードルでヒートンを取り付ける場所に、軽く穴を開ける。 あまり奥まで穴をあけると、ヒートンのねじ径より穴が大きくなり、固定できないので慎重に作業する。 ドングリ：平たい面にヒートンを取り付ける。マジックや修正液で字や絵を描いてもよい。 ※ドングリは皮がやわらかく割れやすいので、穴をあけた後ヒートンを刺す前に、木工用ボンドを注入する。 ボンドが乾くまではヒートンを動かさない。 梅枝：適当な長さに切り、カッターで皮を削り、字や絵を描く。 ビーズ：カラーゴムひもを通し、上端をむすんで止める。 下端にヒートンを付けた自然物を通してよい。 ※ゴムひもを通しにくいときは細いワイヤーにひもを挟み、ワイヤーごとビーズの穴に通す。 <p>③ ストラップの金具に、装飾用パーツを付けて完成。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 感想発表や友達の作品の鑑賞 用具の返却と後片づけ



＜輪切り＞



＜松ぼっくり＞



＜ドングリ＞



＜梅枝＞



＜ビーズ＞

6 安全に実施するためのポイント

- 刃物を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつける。
- 用具を散乱させておかないように注意する。